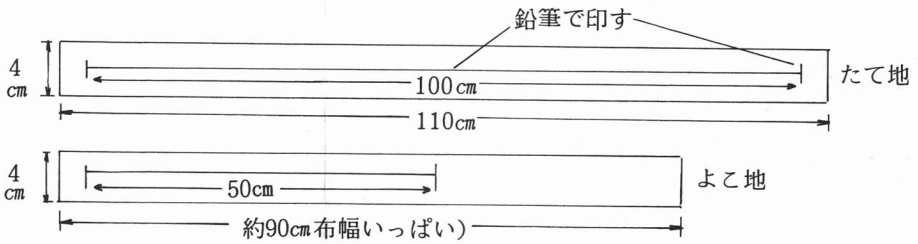
例　4

項　　目	縫いつれの実験
目　　的	縫いつれの実験をし，布にあった針目を理解する。
用　　具	ミシン，スチールメジャーまたはものさし，ミシン針11番
材　　料	ブロード・デニム　たて地　長さ　110 ㎝　幅　4 ㎝の布 ブロード・デニム　よこ地　長さ 約90 ㎝　幅　4 ㎝の布　} 各々8枚 トレース紙　110 × 4 ㎝ カタン糸　60番　90 ㎝× 4 ㎝　} 各々2枚

方　法

1. 布にメジャーで，たて地は100 ㎝,よこ地は50㎝を図のように印を付ける。（各々4枚のみ）



2. 下のような組み合わせで，2枚かさねミシンをかける。

① 布 ― 60番の糸 ― 当て紙なし ― 6針／㎝
　　当て紙あり ― 4針／㎝

◎ ミシンは同じ調子でかける。

3. 印と印の間を測り，縫いつれ率を出す。

$$縫いつれ率 = \frac{縫製前の長さ - 縫製後の長さ}{縫製前の長さ} \times 100\ (\%)$$

まとめ

記録表にまとめ，縫いつれの原因を考える。

条件＼布地名				
			縫いつれ率	縫いつれ率
当て紙	なし	6針／㎝		
		4針／㎝		
	あり	6針／㎝		
		4針／㎝		